本文

官報

第四千二百六十三號　　明治三十年九月十五日　水曜日

○告示

大藏省告示第五十七號

第二回發行

一記名軍事公債證書額面五拾圓券附屬利札　一枚

　　番號　第三三一二三番

　但明治三十年六月渡分

右三重縣三重郡海藏村大字末永九十二番屋敷森脇源右衞門所有ノ處明治三十年六月二十五日消滅ノ趣ヲ以テ利子請求ニ付整理公債條例第二十條ニ據リ之ヲ交付セリ但消滅シタル利札ハ無效トス

明治三十年九月十五日　　大藏大臣　伯爵松方正義

遞信省告示第二百五十四號

武藏國横濱港内ノ北方神奈川浮標流失セリ

　但舊位置ヘ碇置ノ上ハ更ニ其旨告示スヘシ

明治三十年九月十五日　　遞信大臣　子爵野村靖

遞信省告示第二百五十五號

本月二十日ヨリ福井小松間鐵道運輸營業ヲ開始ス

但同區間各驛ノ營業哩程及旅客乘車賃金ハ左ノ通リ

明治三十年九月十五日　　遞信大臣　子爵野村靖

驛名	各驛間哩程	乘車賃金（各驛間）		
		上等	中等	下等
福井	三哩四分ノ三	十三錢	九錢	四錢
森田	三哩四分ノ三	十三錢	九錢	四錢
新庄	三哩二分ノ一	十三錢	九錢	四錢
金津	二哩二分ノ一	十錢	七錢	三錢
細呂木	五哩二分ノ一	十九錢	十四錢	六錢
大寺	四哩二分ノ一	十六錢	十一錢	五錢
動橋	六哩二分ノ一	二十三錢	十七錢	七錢
小松				

正誤

昨十四日遞信省告示第二百五十號中祇田ハ祇用ノ誤

遞信書記官

○敍任及辭令

○明治三十年九月十三日

任學習院教授　　山口高等學校教授從七位　松井安三郎

敍七等

任學習院學生監副官　　豫備陸軍步兵中尉從七位勳六等　石黒鋹四郎

敍八等

○明治三十年九月十四日

兼任華族女學校教授　　華族女學校學監正五位　下田歌子

敍三等

敍六等

敍六等　　華族女學校教授正七位　佐野安

任內務技師　　華族女學校教授從七位　津田梅子

敍高等官七等　　土木監督署技師從七位　安達辰次郎

任土木監督署技師　　內務技師從七位　安達辰次郎

敍高等官六等　　山梨縣技師正七位　友成仲

任陸軍教授　　土木監督署技師正七位　友成仲

敍高等官七等　　正七位　高橋豐夫

陞敍高等官五等　　陸軍教授正七位　高橋豐夫

陞敍高等官七等　　第五高等學校教授正七位　高畑挺三

陞敍高等官七等　　林務官　笠原寶太郎

陞敍高等官七等　　林務官　山田叔雄

依願免本官竝兼官（九月十四日內閣）　　林務官　伊藤祐一

非職　高等師範學校長兼文部省參事官　嘉納治五郎

宮內書記官兼式部官有栖川宮家令正五位勳五等　齋藤桃太郎

西班牙國皇帝陛下ヨリ贈與シタル「イサベラカトリック」第一等勳章ヲ受領シ及ヒ佩用スルヲ允許ス

（各通）　　海軍大佐從五位勳五等功四級　舟木練太郎

式部官正四位侯爵　木戸孝正

西班牙國皇帝陛下ヨリ贈與シタル「シヤールトロワー」星章附第二等勳章ヲ受領シ及ヒ佩用スルヲ允許ス　　陸軍砲兵中佐正六位勳五等功四級　村田惇

西班牙國皇帝陛下ヨリ贈與シタル「シヤールトロワー」第二等勳章ヲ受領シ及ヒ佩用スルヲ允許ス

本文 4263 3

西班牙國皇帝陛下ヨリ贈與シタル「シヤールトロワー」第三等勳章ヲ受領シ及ヒ佩用スルヲ允許ス

（各通）

海軍大尉從六位勳六等　加藤　定吉

陸軍砲兵中佐正六位勳五等功四級　村田　惇

大不列顛國皇帝陛下ヨリ贈與シタル銀製「ジュビリー」記念章ヲ受領シ及ヒ佩用スルヲ允許ス（以上十九日賞勳局）

海軍大佐從五位勳五等功四級　舟木練太郎

非職ヲ命ス（三日十宮内省）

宮内書記官兼式部官有栖川宮家令正五位勳五等　齋藤桃太郎

家督相續被仰付（九日十同）

學習院教授　岡倉　眞範

六級俸下賜

故子爵五條爲榮嗣子　五條　功之助

十級俸下賜

土木監督署技師　友成　仲

縣治局府縣課長ヲ命ス（以上四日十内務省）

内務技師　安達長次郎

（各通）

内務書記官　井上　友一

白杵葉煙草專賣所長　休三

米子葉煙草專賣所長　佐藤　啓行

高梁葉煙草專賣所長　原田　親光

茂木葉煙草專賣所長　正重

松本葉煙草專賣所長　水谷　千波

貞光葉煙草專賣所長　黒田　直

國分葉煙草專賣所長　竹尾　忠男

出京ヲ命ス

大藏省鑑定官　石井淳二郎

御用有之茨城福島兩縣下ヘ出張ヲ命ス（以上四日十大藏省）

陸軍歩兵大尉　八田　汎功

賜一等給（九日陸軍省）

陸軍歩兵大尉　橋本　四郎

免本職補臺灣守備歩兵第一聯隊附

臺灣守備歩兵第一聯隊附　近藤　虎彦

免本職補歩兵第一聯隊附

臺灣守備歩兵少尉　中柴　末純

免本職補臺灣守備工兵第一中隊附

臺灣守備工兵第一中隊附　長谷川甚一郎

免本職補工兵第一大隊附

陸軍工兵少尉　菊地　節藏

免本職補屯田歩兵第一大隊長　第七師團副官

屯田歩兵第一大隊長　渡邊　水哉

免本職補獨立歩兵大隊長

獨立歩兵大隊長　泉　法輪

免兼職　戸山學校教官兼同校教導大隊副官

陸軍歩兵少佐　沼田　正吾

免本職補第七師團副官

陸軍歩兵少尉　南　多賀　宗之

免本職補輜重兵監部副官

輜重兵第二大隊附　洲崎　雛

近衛歩兵第一聯隊附陸軍歩兵中尉　齋藤　慎司

退役被仰付

陸軍歩兵少尉　菊村　漾一

免兼陸軍大學校敎官

軍醫學校長兼陸軍一等軍醫正醫學博士生會議議員　森　林太郎

兼補陸軍大學校敎官

陸軍一等軍醫兼衛生會議醫務局課員兼陸軍一等軍醫　高橋　茂

免本職補歩兵第一聯隊附　歩兵第十五聯隊附陸軍三等軍醫

宮内書記官兼式部官有栖川宮家令正五位勳五等　齋藤桃太郎

海軍大尉從五位勳五等功四級　舟木練太郎

海軍大佐從五位勳五等功四級　木戸　孝正

式部官正四位侯爵　木戸　惇

陸軍砲兵中佐正六位勳五等功四級　村田　惇

海軍大尉從六位勳六等　加藤　定吉

免本職補歩兵第十五聯隊附　東京衛戍病院附陸軍三等軍醫

經理學校敎官兼陸軍二等監督長　遠藤　愼司

兼補經理學校敎官（以上三日十同）

八級俸下賜（九月十同）

陸軍教授　吉村　淵藏

免本職補海軍軍令部第二局局員

磐城分隊長海軍大尉　岩下　知克

免本職補磐城分隊長

海軍兵學校監事海軍大尉　石田　一郎

免本職補兼職補海軍兵學校監事

橋立砲術長海軍大尉　山本竹三郎

免本職補橋立砲術長兼分隊長

佐世保水雷團水雷艇隊長海軍大尉　河瀨　早治

免本職補佐世保水雷團馬公水雷敷設隊分隊長

松島分隊長海軍大尉　土田豫太郎

免本職補佐世保水雷團水雷艇隊長

佐世保水雷敷設隊分隊長海軍大尉　荻間　光太

免本職補平遠分隊長

小山田伸之丞

免本職補橫須賀水雷團第二水雷艇隊長

天城分隊長海軍大尉　峰　邁平

免本職補橫須賀水雷團第二水雷艇隊長

橫須賀水雷敷設隊分隊長海軍大尉　久保　來復

免本職補橫須賀水雷團分隊長

第二水雷敷設隊分隊長海軍大尉　井手　篤行

免本職補松島分隊長

松島分隊長海軍大尉　和田　義則

大和乘組被免天城分隊長心得被仰付

天城分隊長海軍少尉　末松　兵市

筑波乘組被免筑波分隊長心得被仰付

筑波分隊長海軍少尉　博　恭王

吳水雷團水雷艇隊附海軍少尉勳一等

免本職補吳水雷團水雷艇隊長心得被仰付

須磨乘組被免筑波乘組被仰付

海軍少尉　富士川一吾

橋立乘組被免天和乘組被仰付

海軍少尉　飯山仁三郎

免本職補筑波機關長兼分隊長

海軍少尉　淵岡純一郎

免本職補愛宕機關長海軍大機關士

愛宕機關長海軍大機關士　野中英太郎

免本職　横須賀水雷團軍醫長海軍大軍醫

海軍大軍醫　久保　周介

特命被仰付

海軍大軍醫　久保　周介

免本職補橫須賀水雷團軍醫長

橫須賀水雷團軍醫長海軍大軍醫　金田一義行

免本職補吳海軍造兵廠軍醫長

吳鎭守府病院附海軍大軍醫　淺野勝太郎

免本職補吳鎭守府病院附

吳鎭守府病院附海軍大軍醫　石尾　正亨

免本職補佐世保鎭守府病院附

佐世保鎭守府病院附海軍大軍醫　船橋　清信

免本職補平遠軍醫長（以上四日十海軍省）

平遠軍醫長海軍大軍醫　日向　次作

免本職補吳鎭守府病院附

吳海軍醫長海軍造兵廠軍醫　松崎藏之助

東京帝國大學法科大學敎授

統計學講座分擔ヲ免シ更ニ同講座擔任ヲ命ス

第二高等學校敎授　椿　時中

（三日十文部省）

十二級俸下賜（以上三日十同）

山口高等學校敎授　由比　質

山口高等學校舍監心得兼勤ヲ命ス（四日十同）

農商務省參事官　藤川馬五郎

農商務省參事官

農商務技師　松波　秀實

山林局林業課長心得ヲ命ス（以上九日十農商務省）

農商務技師　大林　雄也

岐阜縣製茶共進會審査長トシテ同縣ヘ出張ヲ命ス

農商務技師　平山　英三

農商務省特許局審査官

岐阜縣五二會品評會審査官トシテ同縣ヘ出張ヲ命ス

農商務技師　山口　務

三重長野二縣下巡廻ヲ命ス（以上三日十同）

通信技師（大阪）　長谷川　廷

通信技師（熊本）　梶浦　重藏

大阪府下西成郡千船村日本硫酸株式會社、神戸市今出在家町日本精米株式會社、岡山縣下西北條郡津山町美作製紙株式會社自家用電燈工事ノ檢査ヲ命ス

檢査官補　笹岡兼太郎

檢査官補　古川　浩猪

通信技師（熊本）　梶浦　重藏

福岡縣下筑紫郡住吉村博多絹綿紡績株式會社自家用電燈工事ノ檢査ヲ命ス（以上四日十遞信省）

（各通）

明治二十八二十九兩年度檢査報告及行務成績書取調委員ヲ命ス（三日十會計檢査院）

○宮廷錄事

○富美宮泰宮御安著　允子內親王、聰子內親王兩殿下ハ一昨十三日午後二時二十分神奈川縣下鎌倉毛利公爵別邸ヘ御安著アラセラレタリ

○彙報

○官廳事項

○官吏發著

彙ニ京都ヘ出張ノ久邇宮家令小藤孝行ハ本月十二日、同梨本宮家令西尾爲忠ハ一昨十三日就モ歸京ノ御料局技師望月常ハ同日出發東京府北豐島郡ヘ、堤內匠頭ハ昨十四日出發京都及兵庫縣下ヘ就モ出張セリ

彙ニ松本稅務管理局長ニ補セラレタル司稅官菊池良ハ昨十四日出發赴任セリ」

彙ニ幹部演習施行ノタメ宮城縣古川地方ヘ出張ノ歩兵第四旅團長岡村陸軍少將ハ本月九日歸著セリ

彙ニ福非外一縣下ヘ出張ノ史料編纂委員東京帝國大學文科大學助敎授田中義成ハ本月十日長野外一縣下ヘ出張ノ東京帝國大學醫科大學敎授下山順一郎ハ同十二日就モ歸京ノ廣島外一縣下ヘ出張ヲ命セラレタル同理科大學敎授坪井正五郎、大島外六測候所ヘ出張ヲ命セラレタル中央氣象臺技師正戶豹之助ハ一昨十三日就モ出發セリ

○官廳事項

○死刑執行　宮城縣伊具郡大內村伊手平民農水沼多利治ハ謀殺ノ科ニ因リ本年四月七日仙臺地方裁判所ニ於テ死刑ノ宣告ヲ受ケシ處本月十日執行セラレタリ

○出火　秋田縣ニ於ケル出火左ノ如シ

本月九日午前零時十分山本郡能代港町ヨリ出火神社一宇、住屋十六戶燒失　同二時鎭火原因詳ナラス

財政

○國庫歲入歲出額　大藏省ニ備フル國庫原簿ニ去月中登記濟ノ國庫歲入歲出額左ノ如シ　去月十二日水閘

許可 4263 号 明治三十年九月十五日

第4263号　本文

| | | |

千八百五十九年四月三十日大不列顛國及グアテマラ共和國トノ間ニ締結セラレタル條約第一條ニ左ノ通規定セリ

グアテマラ共和國及大不列顛國ハ同共和國トオンドゥラス灣ニ於ケル大不列顛國及植民地及領地トノ境界ニ關シテハ千八百五十年一月一日ニ於テ現存セシ狀態ヲ今後存續スルコトニ同意ス其境界ハ即チ左ノ如シ

オンドゥラス灣ニ於ケルサルストゥーン河口ニ始リ同河ノ中央ヲ溯リテグラシアス、アディオス灣ニ至リ右折シテベリセ河ニ於ケルガルブット灣ニ至ル直線ヲ劃シ更ニ通テガルブット灣ヨリ北墨西其ノ境界ニ至ル

而シテ千八百八十二年九月二十七日墨西其共和國ハグアテマラ共和國トノ境界ヲ明白ニ規定スルハ幸ニ兩國間ニ存在スル所ノ友誼ヲ維持スルニ大ナル裨益ヲ與フルモノト信ジ大不列顛愛蘭聯合王國皇帝陛下及墨西其共和國大統領ハ此國界條約ヲ締結スルカタメニ皇帝陛下ハ墨西其國駐箚大不列顛國特命全權公使「セント、マイケル及セント、ジョージ」ノ「ナイト、コムマンドル」サー、スペンサル、セント、ジョン及墨西其共和國大統領ハ其外務大臣イグナシヨ、マリスカルヲ各〻其全權委員ニ任命セリ依テ各全權委員ハ互ニ其委任狀ヲ示シ其ノ公當ナルヲ認メ以テ左ノ諸條ヲ協議決定セリ

第一條

大不列顛國及墨西其共和國ハ同共和國及英領オレドゥラス植民地ノ境界ハ左ノ如クナルヘキコトニ同意セリ

ユカタン州トアムベルガリス島及其附屬島嶼ヲ離隔スルボカ、バカラル、チカ海峽ニ始リ前記二地ノ中央ヲ通過シテ西南方北緯十八度九分ニ達シ東ニ附屬地圖ニ示セル如ク其西北ニ在ル島ノ中央ヲ通過シテ北緯十八度十分ニ至リ西方ニ折レテ其附近ニ在ル一灣ニ沿ヒ西經八十八度二分ニ達シ北折シテ北緯十八度二十五分ニ至リ再ヒ西方ニ轉シテ西經八十八度十八分ニ至リ更ニ該子午線ニ沿ヒテ北折シ北緯十八度二十八分三十秒即チオンドゥラス灣ニ注ク河口ニ至リ其最深ノ河口ニ至リ更ニ正南方ニ轉シテ北緯十七度四十九分即チ墨西其共和國及グアテマラ共和國ノ境界線ニ合ス而シテ此北方ノ河ハ墨國ノ版圖ニ屬スルモノトス

第二條

大不列顛國及墨西其共和國ハ墨西其國及英領オンドゥラス國ノ國境附近ニ住居セル印度種族トノ平和ヲ速ナラシメ及同種族ノ蜂起ヲ豫防スルカタメノ兩國ノ臣民又ハ其居住民ハ該印度種族ニ對シ兵器及爆藥ノ供給スルコトヲ嚴禁スルコトニ同意ス

第三條

大不列顛國政府及墨西其國政府ハ兩國ノ一方ニ住居セル印度種族ヲシテ他ノ一國ニ侵入セシメサルコトニ關シテハ總テ有效ナル方法ヲ採ルコトニ同意スト雖モ該印度種族カ各〻自己ノ政府ニ反抗シテ暴動ヲ起シタル場合ニ於テ爲シタル行爲ニ關シテハ兩國政府ハ共ニ責任ヲ有セサルモノトス

第四條

本條約ハ兩國ニ於テ之ヲ批准シ其批准ハ成ルヘク速ニ墨西其府ニ於テ交換スヘシ

右證據トシテ各全權委員ハ之ニ記名調印スルモノナリ

千八百九十三年七月八日墨西其府ニ於テ本書二通ヲ作ル

スペンサル、セント、ジョン　印

イグナシヨ、マリスカル　印

本年四月七日各全權委員ハ英領オンドゥラス國ノ領海ニ墨西其國船舶ノ自由ニ航行スル得ルコトヲ永久ニ保證スル旨ヲ欲シ此目的ヲ達スルカタメニ定スルカタメニ前條約ノ附屬トシテ左ノ條約ヲ締結ス

（八）

千八百九十三年七月八日調印シタル墨西其國及英領オンドゥラス國ノ境界條約ニ關シ大不列顛國及墨西其國ハアムベルグリス島一名サン、ペドロ島ノ南部ニ在ル英領オンドゥラス灣ノ領海ニ關スル海峽ヲ墨西其國ノ自由ニ航行スルヲ得ルコトヲ永久ニ保證スルヲ欲シ此目的ヲ達スルカタメニ大不列顛愛蘭聯合王國皇帝陛下ハ墨西其國駐箚大不列顛國特命全權公使、バクスヽ勳章ノ「コムパニオン」ヲ帶ヒサー「ヘンリー、ネビル、デリングラ」墨西其共和國大統領ハ其外務大臣法學士イグナシヨ、マリスカルヲ各〻其全權委員ニ任命セリ依テ各全權委員ハ互ニ其委任狀ヲ示シ其良好ニシテ妥當ナルヲ認メ前條約ニ左ノ條項ヲ追加スルコトヲ協議決定セリ

第三條（省略）

大不列顛國ハアムベル、グリス島一名サン、ペドロ島ノ南部即チ同島ト本州トノ間ニ在ル海峽及英領オンドゥラス國ノ領海ハ現狀ノ如ク墨西其國船ノ自由ニ航行スルヲ得ルコトヲ永久ニ保證スル右證據トシテ各全權委員ハ千八百九十七年四月七日墨西其府ニ於テ本追加條約ニ記名調印スルモノナリ

ヘンリー、ネビル、デリング　印

イグナシヨ、マリスカル　印

○清國重慶商店事情（本年七月二十一日ノ續）

商店ノ諸規約竝ニ習慣

海味行　海味行ハ一名乾菜行ト稱シ即チ海產物ノ問屋ニシテ重慶城内ニ七家、城外ニ十一家アリ

左ニ其店號ヲ掲ク

店號	位置	店號	位置	店號	位置
朱慶盛行	太平門外	楊慶益行	同	南萬興行	同
江源發行	同	舒永昌行	同	劉福興行	同
三元生行	同	黃萬茂行	同	劉隆順行	同
張致和行	同	姚仁興行	同	韓隆昌行	同
張德和行	同	王日昇行	同	胡仁昌行	同
李福茂行	同	朱天元行	城内	張鼎興行	同

以上各號ハ概ネ當地ノ組合問屋ニシテ此外海產物ノ講賣ヲ爲ス家ヲ商賣店ト稱シ城内ニ數百家アリ左ニ問屋申合規則ヲ掲ク

乾菜幇握規章程

一我組合ハ先年規約ヲ定メ照令ノ認可ヲ經テ各種ノ僞貨ヲ私ニ賣ルヲ許サス如シ規約ヲ破リ本會ノ公事ヲ讒謗スル者ヲ查出スルトキハ公議處罰スヘシ罰ニ從ハサル者アレハ節年ヨリ官廳ニ稟送スヘシ

一外省ノ客商各種ノ山珍海味ヲ携帶若クハ回送シ重慶ニ來ルハ官商宴會ノ用ニ供スル上品ヲ要ス何ソ僞物ヲ以テ眞ヲ亂スヲ容レンヤ如シ我組合ニ於テ查獲スレハ官廳ニ稟送スヘシ

一我組合開店ノトキノ庄銀即チ入會金ハ仍ホ舊章ニ照シ銀四兩ヲ要ス如シ招牌ノ一字ヲ改ムルトキハ庄銀二兩、又原牌ニ記ノ字ヲ添加スルトキハ銀一兩ヲ出スヘシ如シ會賣營業ノ者分開スルトキハ値年ノ處ニ至リ庄銀簿ニ登錄スヘシ又同業者ニシテ更ニ一店ヲ開クトキハ以前ニ出セル庄銀ヲ以テ賣ヲ塞クヲ得ス違フ者ハ處罰スヘシ

一舊章ニ依レハ他業者ニシテ本業ノ店ヲ開ク者ハ庄銀八兩ヲ要セシカ先年來他業者ニシテ我組合ニ入レル者ノ情願ニ因リ公議ヲ經テ庄銀ヲ二兩ニ減少セリ以後同業及他業者ノ庄銀ハ四兩及六兩ヲ以テ永規ト定メ加減スルコトナシ招牌記號ノ如キモ冒襲ノ弊ナキヲ要ス違フ者ハ處罰スヘシ

一學徒ノ赤タ期限ニ至ラシテ開店スル者ハ他業者ト同樣タルヘシ是レ年來庄銀ヲ出スニ遲速アリテ人ミ遲延スルニ因リ同業公議ヲ遂テ店舖ヲ新開スル者アレハ他業同業ヲ論セス開店後一箇月ヲ期限トシ庄銀ヲ出スヘシ如シ從ハサル者アレハ値年ハ同業組合ニ通知シ廟ニ至リ公議スヘシ雜貨等ヲ徵收セラル、者ト雖モ決シテ怪訝スルコト勿レ右ノ庄銀ハ毎年殖利ノ方法ヲ以テ敬神演戲ノ基金ト爲スヘシ但シ毎年首七ヲ公選シ逐一清算報告スヘシ

一錢假高貨ナルヲ以テ買客ノ來ルトキハ必ス票銀十兩ハ銅錢十五千文ニシテ廣平ヲ用フル旨ヲ告知スヘシ又他人ニシテ我組合ノ規約ヲ破リ者ヲ拿獲スルトキハ會金ノ內ヲ以テ錢二千文ヲ賞與スヘシ

一我組合ノ開店者及未開店者ノ鄉鎭ヘ還移スルモノ一ナラス故ニ開店ノ三日以前ニ於テ分金ヲ値年ノ所ニ來付シ記名ノ上酒席ノ用意金ト爲スヘシ

一我組合店舖內ノ伙房、學徒ニシテ私ニ貨物ヲ取出シ密賣セルノ罪犯者アルトキハ必ス之ヲ探明シテ通知スヘシ若シ之ヲ隱蔽シ私ニ買取者ヲ他日查出スルトキハ授受ノ貨物ヲ沒收スヘシ

光緒二十二年三月十六日

同心會公議章程

一我組合ノ者諸問屋及各店ニ於テ商業ニ從事シ又ハ店員ト爲リタル後若シ貨物ヲ透漏スル等ノ弊アレハ其多少ヲ論セス該店ニテ查出スレハ數ヲ照シ加倍シテ賠償セシメ更ニ首士ニ告ケテ除名スヘシ

一我組合內ノ店員タル者ハ皆組合內ニ於テ學習セル者ニ限ルヘシ若シ三年未滿ニシテ他業者ノ店員ト轉リ本業ヲ營ム者ハ庄銀十兩ヲ出スヘシ尤モ該店主ニ於テ保證スヘシ如シ違フ者アレハ當ノ店ニシテ徵治スヘシ

一學徒私ニ銀錢貨物等ヲ偷去セル發見スレハ首士ニ請ヒ其數ヲ明算シ本人ノ推薦者ヲシテ賠償セシメ永遠ニ組合ニ入ルヲ許サス

一學徒諸問屋及各店ニ新入スルトキハ值年ニ通知シ姓名ヲ登簿シ每年會期ニ至レハ錢百文ツヽヲ該店主ヨリ立替出金スヘシ

一首士ハ每年公議シテ選舉スヘシ役代ノトキハ假銀銀錢誼愚書額等綿算ノ上一般ニ報告スヘシ

一值年ニハ於テ庄銀ヲ收入スルトキハ直ニ殖利ノ方ヘ振替スヘシ

一庄銀ヲ出セル者ニシテ死亡スルトキハ每年會期ニ於テ燒香シ冥誕ヲ祈リ其父兄子姪ハ來會ヲ許ス尤モ他年會金餘裕アルニ至レハ其出金ヲ免除スヘシ

光緒　年　月

同心會公議規則

一云フ此章程ハ各問屋ニ屬レ番頭、手代、見習人等ノ申合規約ナリトス

前記海產問屋ハ一名幇ト稱シ即チ各店ト相應ノ棧房ヲ有シ荷主ノ携帶セル貨物五六十箇許ハ優ニ棧房內ニ存置スルヲ得ヘシ又貨物多數ナルトキハ同業者ヲ他業者ノ荷倉借入ノ周旋ヲ爲シ又稅關ノ屆等万端ヲ扱ヒ荷主ノ便利ヲ圖レリ而シテ買客荷主ノ如キハ年來熟懇ナル者四五人ハ常ニ問屋內ニ滯在スル者アレトモ其他ハ通常客舍ニ宿泊シ每日各問屋間ヲ往復サス且ツ廣貨舖ニシテ同業組合規則ヲ以テ制定セル開店ノ出金ヲ濟サヽル者ニ對シテハ此制引ヲ爲サス

以上公議章程各款ハ凡ソ我同人務テ格守スヘシ組合中年番ニ當ル者ハ時々監察シテ如シ違犯者ヲ查出スルトキハ罰銀百兩、酒席四卓、演戲一壘ヲ科スヘシ

光緒二十一年冬月初一日

右各問屋ノ內江西省人五軒、江蘇省人一軒ヲ除クノ外ハ皆四川省人ノ開設ニ係レリ

又紡績綿ノ賣込ニ關スル規則ハ開限四箇月、銀色申水百兩ニ附キ六兩、月利一分五厘、行規百兩ニ附キ七兩八匁ナリトス

綿花幇　重慶ニ於テ江蘇省其他地方ノ產綿ヲ輸入シ之ヲ賣込ム問屋ヲ入省白花行幇ト稱シ即チ江蘇浙江江西安徽湖南湖北廣東福建八省人ノ開設セル問屋ノ組合ナリトス其屋號ヲ掲クレハ左ノ如シ

屋號	位置	屋號	位置
廣安行	同	永發行	同
義成行	同	義順行	同
同人行	同	萬昌行	同
福萬行	同	義順行	同

（以上湖北省黃州人）

屋號	位置
萬安行	朝天門
聚興花行	同上
馨慶花行	同上
三義花店	同上
天吉花店	同上
意和花店	同上
吉安花店	同上

店名	店主
仁義永	季
天吉長	唐
聚星德	陳
聚興仁	楊
正興祥	余
濟興隆	魏

店名	店主
同利永	陳
億泰號	謝
復順隆	莫
福源慶	劉
源順昌	尹
裕和恒	黃

店名	店主
德厚蘊	官
揚友義	同生合
裕和源	聚義慰
仁美益	德興元
瑞生祥	
聚興泰	石

期限一年ヲ三期ニ分チ陰曆正月ニ賣約ヲ爲ストキハ八月以內ヲ期限トシ五月初六日後ニ賣約ヲ爲ストキハ其年內ヲ期限トシ十一月初一日後ニ賣約ヲ爲ストキハ翌年四月以內ヲ期限ト爲シ永遠更改スルコトナシ

行規　申合規則トシテ九二二揑即チ九十二兩二匁ヲ以テ百兩ト算定ス

銀色　申水五色中控ト稱シ銀質佳良ナルヲ以テ九十四兩五匁ヲ以テ百兩ト算定ス

秤砝　公所ニ備存セル貨秤ト駿準セルモノヲ用フヘシ如シ異論アルトキハ公所ニ至リ比較シテ之ヲ決スヘシ

月利　長期ノ賣假ヲ一時ニ受取ルトキハ月利一分二厘ノ割ト定メ永遠增減スルコトナシ期ニ至レハ利息ヲ要セス期ヲ過クレハ直ニ利息ヲ加フヘシ

尾數　賣込代金ノ殘額ト尾數ト稱シ必ス年三期ノ約束期末ニ於テ清算スヘシ如シ期ヲ過キテ拂込マサレハ利息ヲ加フヘシ

貨件　荷物ニ損傷及水濕アリテ之ヲ引換ヘル等ノ事ハ雙方面前ニ於テ開看セルトキニ議定スヘシ如シ他日別地方ヘ輸送スルノ後ニ於テハ都テ退換セサルヘシ

賣買　取引手合ハ都テ書附ヲ受取リタル後ハ變改スルヲ許サス

舖家　即チ問屋大店ヨリ廢貨舖ト稱スル小資店ニ賣ルトキハ箱櫥、水濕ノ割トシテ九九三摺釘附ト稱シ銀九十九兩三匁ヲ以テ百兩ト算定スヘシ但シ此割引アルヲ名トシテ低假ニテ濫賣スルヲ許サス且ツ廣貨舖ニシテ同業組合規則ヲ以テ制定セル開店ノ出金ヲ濟サヽル者ニ對シテハ此割引ヲ爲サス

以上公議章程各款ハ凡ソ我同人務テ格守スヘシ組合中年番ニ當ル者ハ時々監察シテ如シ違犯者ヲ查出スルトキハ罰銀百兩、酒席四卓、演戲一壘ヲ科スヘシ

光緒二十一年冬月初一日

右各問屋ノ內江西省人五軒、江蘇省人一軒ヲ除クノ外ハ皆四川省人ノ開設ニ係レリ

又紡績綿ノ賣込ニ關スル規則ハ開限四箇月、銀色申水百兩ニ附キ六兩、月利一分五厘、行規百兩ニ附キ七兩八匁ナリトス

綿花幇　重慶ニ於テ江蘇省其他地方ノ產綿ヲ輸入シ之ヲ賣込ム問屋ヲ入省白花行幇ト稱シ即チ江蘇浙江江西安徽湖南湖北廣東福建八省人ノ開設セル問屋ノ組合ナリトス其屋號ヲ掲クレハ左ノ如シ

屋號	位置
萬安行	朝天門
義成行	同
永昌行	同
謙泰行	同
謙義行	同

（以上湖北省黃州人）

屋號	位置
廣安行	同
義成行	同
同人行	同
福萬行	同

屋號	位置
永發行	同
義順行	同
萬昌行	同
義順行	同

万順花店

怡泰店	（正泰森號ハ此店內ニ住ス）
馨慶花店	（新泰衡、新泰仁、新泰福、恒裕公、代恒ノ五號此店內ニ住ス）
三義花店	恒益店
天吉花店	與仁住ス）
意和花店	（和發興、晉泰豐、恒泰明ノ三號此店內ニ住ス）
吉安花店	雨儀店

怡春店	（正德生號此店內ニ住ス）
洪順店	（永昌源、同源發ノ二號此店內ニ住ス）
公益店	（益昌號此店內ニ住ス）
巨享祥號	
慶昌怡號	

4263 官報 明治三十年九月十五日

花帋公議成規

一繰花ノ賣渡價銀ハ乾隆四十六年ノ春例ニ遵ヒ足紋ノ九八銀ヲ以テ突兌スヘシ低色ノ塊銀及盧布ト帑スル銀錢ノ中心四ミタル者ヲ封入スルヲ得又封中ノ數量ヲ暗減スルヲ得ス遵フ者ハ議罰スヘシ

一銀色ヲ此規定ト停セサル者ハ總ニ公所ニ送リ査看スヘシ如シ果シテ不足ナレハ行主ハ之ヲ交換スヘシ故ニ交換ヲ拒ム者ハ議罰スヘシ

一秤ハ乾隆五十八年ノ原制ニ遵ヒ針ノ對スルヲ以テ度ト爲シ不推不叶ト手加減ヲ爲スヲ許サス賣客ハ秤量スルトキ鏡碼ヲ査對スヘシ如シ稍モ過ノ後甘シテ換減ヲ容レ或ハ各行司ノ情弊ヲ爲ス者ハ演戲六臺ヲ罰スヘシ

一賣客綿花ヲ賣リタル後ハ行主必ス期ヲ設シテ價銀ヲ交付スヘキカ故ニ臨シテ錢店ニ至リ豁銷ヲ設ケ銀兩ヲ融通シ行規ヲ亂スヲ許サス行主モ亦期ニ臨ミ事故ヲ設ケ延期スルヲ許サス又强迫シテ過賦スルヲ許サス如シ果シテ錢店ニ於テ錢ヲ買ヒシコトヲ行主確實ニ査明シ已ニ貨物ヲ踏買シ價銀交付ノ期ニ迫ルモノハ其自由ニ任ス如シ遠犯者アレハ公所ニ通知シテ議罰スヘシ

一已ニ公秤ヲ領收シ綿花ヲ買ル者ハ廳ニ入ル者ハ公議行規ニ遵照スヘシ如シ經秤ヲ用ヒ低色ノ銀兩ヲ私ニ授受スル者ヲ査出スレハ演戲六臺ヲ罰スル外公秤ヲ取回シ永ク交易ヲ停止スヘシ

一行店ニ於テ見本綿花ヲ示シ取引出來セサレハ仍ホ原色ノ儘タルヘシ如シ手打濟ナレハ行店ニ於テ收貯スヘシ

一經開セル綿花及水濕綿ハ秤量ヲ減シ低價ニテ賣ルヲ得ヘシ充モ秤量ノトキ手加減ヲ爲シ行規ヲ亂スヲ得ス

一土花ハ原ヨリ下底ノ綿繩ナケレハ解除スヘシ

但シ一條綿百二十匁ヲ限トシ如シ多量ナレハ解除スヘシ

一行店ニ於テ見本綿花ヲ示シ取引出來セサレハ仍ホ原色ノ儘タルヘシ如シ手打濟ナレハ行店ニ於テ收貯スヘシ

一經開セル綿花及水濕綿ハ秤量ヲ減シ低價ニテ賣ルヲ得ヘシ充モ秤量ノトキ手加減ヲ爲シ行規ヲ亂スヲ許サス且ツ別ニ行票ヲ稱スル問屋ノ書附ヲ與フヘシ違犯スル者ハ蠟燭二本ヲ罰シ席廉ニ供シ

一綿花ヲ他行ニ持參シテ發賣スルコトハ行主阻欄スルヲ得ス違犯者ハ演戲六臺ヲ罰スヘシ

一客商直接ニ綿花ヲ賣リ價銀收受ノトキハ行主立合價色ヲ監査スヘシ如シ私ニ收受シテ行規ヲ紊ス者ハ演戲六臺酒食十席ヲ罰スヘシ

一司月ノ初一ニ至リ更ニ秤量スルトキハ八省人ノ縣令ニ請ヒ認可ヲ經タル告示ニ從ヒ行規ニ從ヒ千斷門朝天門外ノ埠頭ニ於テ賣客ノ來否ヲ論セス公平ニ拔出シ秤量スヘシ

一土布ヲ賣リタル價銀ハ春例足銀平九十六兩ノ割ニテ交付スヘシ

一紡綿絲ヲ賣リタル價銀モ同上春例足銀平九十六兩ノ割ニテ交付スヘシ

一各省ノ賣客規則ニ從ハサル者ヲ査出スレハ省ノ客長ニ告ケ長ニ告ケ理シ議罰スヘシ

一綿花ヲ秤量スルトキ包袋ノ破損及地上ニ散落セル綿花ハ客人ノ負擔ニ歸シ行主ハ關係ナシ各行ノ班上ハ擅ニ地上ノ落綿ヲ收拾スルヲ許サス

一凡ソ客商自身直接ニ綿花ヲ賣ルハ一包數十包ヲ論セス必ス行主ニ於テ秤量スヘシ口實ヲ設ケ自身ニ秤ヲ取リ私ニ授受スルヲ許サス查出スルトキハ重キニ從ヒ議罰スヘシ

以上各條ハ凡ソ我同人相互ニ格守スヘシ實稍情ニ狥ヒ規ヲ紊ストキハ演戲六臺酒食二十席ヲ罰スヘシ如シ行主違犯スレハ分別シテ議罰スヘシ如シ固執シテ罰則ニ從ハサルトキハ交易ヲ永遠停止スヘシ

光緒二十二年八月初二日

因ニ記ス府廟ハ重慶府ノ城隍廟廟花幇公所ハ機坊街ニ在リ

綿花問屋ノ規約即チ取引ニ關スル要項ハ行規九六控ト稱シ四兩ヲ控除シ九十六兩ヲ以テ百兩ト算定スルコト申水八色ト稱シ使用ノ票銀低昂アルヲ以テ二兩ヲ控除シ九十八兩ヲ百兩ト算定スルコト、行用九九ト稱シ問屋口錢ハ百兩ニ附キ一兩ヲ要スルコト、外ニ倉數料トシテ每包百八十斤ノモノヲ及百三十斤ノモノヲ論セス實上勘定ニテ倉入ノ日數ニ拘ラス一包ニ附キ銀一匁二分ノヲ要スルコト、又行棉即チ問屋ノ用フル秤量ハ十七兩二匁八分ヲ以テ一斤ト算定スルコト等ナリトス

絲幣　重慶ニ於テ黃絲ヲ取扱フ問屋ハ合計五軒ニシテ孰モ營客人ノ開設ニ係レリ其屋號左ノ如シ

屋號	店主
大興昇行	朱秀山
玉懋昇行	張丙恒
寶寶商行	公議成規

屋號	店主
祥發絲店	羅万萍
榮發絲店	劉溫齊

一針秤三根ヲ公置シ均ク十八兩八錢ヲ一斤ト爲スト針對ヲ準トシ推セハ叶セス其秤三稱ハ實買兩行ニ各一稱ヲ發シ餘ノ一稱ハ府廟ニ存シテ座稱ト爲シ以テ司月ノ每月査驗シテ畫一スルニ偶ニセヘシ

一銀色ハ街市ノ鏡銀九一足兌スヘシ老鏡銀ハ九兌スヘシ低毛ヲ纔搭スルヲ得ス如シ賣客ノ低毛ヲ濫收シ隱忍シテ言ハサル者ヲ査出スレハ司月ハ衆ニ告ケ永ク交易ヲ停止スヘシ

一秤ハ公置ノ碼碼ニ較準シ問屋ニ於テ經秤ヲ用フルヲ得ス如シ問屋ニ於テ銀ヲ收受スルトキ用秤不足ナレハ即チ公砝ヲ以テ較兌スヘシ問屋ニ於テ異言アルヲ得ス

一價銀ノ交付期限ハ賣買ノトキ言明シ票面ニ記載シ期ニ至リテ交付スヘシ推延スルヲ得ス

一綿ヲ放ラニ滿ス者ハ開放シテ乾燥セシ後ニ交易スヘシ

一綑ハ賣例ニ照シ水絲一把ニ附キ綑トモ重量十八匁ト定ム

條絲ハ一把ニ附キ綑トモ重量九匁ト定ム

火絲ハ同上

綿州絲ハ一把ニ附キ綑四處締ヲ去リ紙捻三處締ヲ存ス黃州絲ハ締繩及紙捻ヲ除キ正味ヲ秤量ス

一過秤ノトキハ針尖ノ相對スルヲ度トス如シ針尖ノ對セサルトキハ重量ノ敗ヲ臨時ニ於テ畫一スルニ偶ニセヘシ

一巴州、貴州ノ水絲ニ條ヲ一把ニ合セ用ヒテ掛東スヘシ如シ大關ノ火絲ヲ用フル者ハ悉ク解除シ染色ノ時ニ於テ査驗ヲ受ケシムヘシ

一綿花ヲ買ル者ハ必ス公估局ニテ看定セシムヘシ票銀百兩ニ附キ只申水三兩ヲ公除スルノミ代銀ヲ受取トキハ公議法秤ヲ以テ絶ト偽シ尺度ハ燒印アル者ヲ用フ

一組合ニ於テ記帳ノタメニ會ヲ興スヲ以テ每年會長及協辦六人ヲ公選シ會計其他一切ノ事務ヲ辦理セシム

一組合ニ於テ經費ヲ收ムルトキハ公議法秤ヲ以テ絶ト爲シ尺度ハ燒印アル者ヲ用フ

一組合公議ノ上其筋ノ認可ヲ經テ何地ノ組合ヲ問ハス新ニ店舖ヲ開ク者ハ一人獨資ニ限ル如シ組合ニ入リ綢緞舖ヲ開クトキハ規約ノ如ク庄銀二十兩ヲ出シ如シ他業者一人ニテ我組合ニ入ノ一人ト他業者ト合資開店スル者ハ規約ノ如ク庄銀五十兩ヲ出スヘク他日開店スルトキハ庄銀ノ二割ヲ控除シテ返付スヘシ原牌ニ一字ヲ變更スレハ庄銀二兩、記ノ字ヲ添フルモ亦二兩ヲ出スヘシ如シ二字ヲ變更スルトキハ新牌ト同樣庄銀二十兩ヲ出スヘシ新開ノ店舖ハ時日ヲ拘ラス先ツ庄銀ヲ年費會長ニ送付シ牌名ヲ登簿シ燒印ノ尺度ヲ領收シタル後營業スヘシ組合ノ者他業者ト合資開店シ若シ組合ヲ退業シ他業者ノ獨名ニテ營業スルトキハ原牌ヲ用フルカ或ハ記名ヲ添フルカ組合業議ニ任セ更ニ銀庄五十兩ヲ出スヘシ其牌名ハ子孫之ヲ繼承スヘキモ他人ニ讓ルヲ許サス違フ者ハ議罰スヘシ

一衙門、公館、居宅內ニ貨物ヲ持込ミ之ヲ示スコトハ從來禁止セスト雖モ番頭、小僧等ハ只客棧ニ至リ仕切ヲ取リ或ハ親友ヲ訪問スルヲ許スノミ貨物ヲ客棧ニ持込ミ尺度ヲ延ヘテ私賣スルヲ嚴禁スル違犯者ヲ查出スレハ解雇科罰スヘシ

一組合ノ者番頭ヲ雇ヒ小僧ヲ招クトキハ必ス保證人ヲ要スヘシ若シ貨物ヲ私竊シ或ハ代銀ヲ私收スル等ノ惡事アレハ保證人ヲ責問シ事實アレハ解雇セシメ永遠組合ニ入ルヲ許サス

一小僧ハ三年ヲ以テ滿限トス三年未滿ノ者ハ店舖ニ於テ給銀ヲ取ルヲ許サス如シ擅ニ來歷不明ノ者ヲ用フレハ議罰スヘシ

一先後任ノ會長ヲ論セス會內ノ事件ヲ處理スルタメ他人ノ私慾ヲ招ク等ノ弊アレハ會衆公議シ之ヲ公訴シ其費用ハ會內備賞金ヨリ出スヘシ或ハ詐欺又ハ各店ノ番頭、手代及小僧ノ變死ニ訴訟ノ連累ヲ破ル者ハ會長等公議ノ上從辦重力スヘシ

凡ソ我同人以上ノ各歇ヲ違犯スル者アレハ銀五十兩、演戲一臺、酒食四席ヲ罰スヘシ

光緒二十二年八月十六日

附記右綢緞物卸店ニシテ開京、蘇州等ニ產スル縐紗、緞子、綢緞、絹、紗等ノ輸入上等品ヲ大手ニ賣ルトキハ四兩月期ノ延賣ニテ月利百兩ニ附キ一分五厘、行規百兩ニ附キ九兩五分、申水百兩ニ附キ四兩五錢ト控除スル定規ナリ又四川省ノ嘉定府、瀘州府、成都等ノ土產ニ係ル粧綢、潮綢、大綢、巴緞等ハ行規ヲ控除セス只申水百兩ニ附キ四兩五錢ヲ控除スルノミナリ

但シ同地ノ生絲ヲ購買シ價銀ヲ交付スルトキハ九七控秤トスル銀秤ヲ用ヒ九十七兩ト算シ又申水六色ト稱シ百兩ノ內ヨリ六兩ヲ控除シ實際百兩ニ對シ計九十一兩ヲ交付スルモノトス

一保證木絲

但シ此絲ハ天平足製ト稱シ價銀ハ呼值ノ如ク百兩ノ全額ヲ交付スヘシ但シ其內ヨリ申水六色五ト稱スル六兩五錢控除シテ算ス

一綿州水絲　上等二百二十四兩　一西兌條絲　上等百六十兩

同上　同上

一貴州水絲　上等二百八兩

中等百九十二兩

下等百七十六兩

同絲ハ九控秤ヲ用ヒ九十兩ヲ百兩ト算シ又申水六色五即チ六兩五錢ヲ控除スルモノトス

但シ右絲價ハ明治二十九年十月ノ相場ナリ

又從來內地ヨリ重慶ニ輸送セル絲類ハ十斤以下ノ者ハ單ニ常匣ノミヲ徵收シ如シ包裝箱入ノ者ニ對シテハ百斤ニ附キ常匣三兩ノ外更ニ抽匣六兩ヲ徵收シ繭ハ百斤ニ附キ常匣一兩五錢ト抽匣三兩ヲ徵收シ又他省ヨリ繭種ヲ四川ニ輸送スル者ニ對シテハ倘ホ舊ノ如ク抽匣ヲ徵收スルコトニ規定シ本年九月ヨリ實行セリ

線舖機坊濕八省公議章程

綢緞舖示定種章程

一組合ノ店舖ニ於テ貨物ヲ賣リタル代銀ハ必ス公估局ニテ看定セシムヘシ票銀百兩ニ附キ只申水三兩ヲ公除スルノミ代銀ヲ受取トキハ公議法秤ヲ以テ絶ト爲シ尺度ハ燒印アル者ヲ用フ

一組合ニ於テ記帳ノタメニ會ヲ興スヲ以テ每年會長及協辦六人ヲ公選シ會計其他一切ノ事務ヲ辦理セシム

一組合ニ於テ經費ヲ收ムルトキハ公議法秤ヲ以テ絶ト爲シ尺度ハ燒印アル者ヲ用フ

一組合公議ノ上其筋ノ認可ヲ經テ何地ノ組合ヲ問ハス新ニ店舖ヲ開ク者ハ一人獨資ニ限ル如シ組合ニ入リ綢緞舖ヲ開クトキハ規約ノ如ク庄銀二十兩ヲ出シ如シ他業者一人ニテ我組合ニ入ノ一人ト他業者ト合資開店スル者ハ規約ノ如ク庄銀五十兩ヲ出スヘク他日開店スルトキハ庄銀ノ二割ヲ控除シテ返付スヘシ原牌ニ一字ヲ變更スレハ庄銀二兩、記ノ字ヲ添フルモ亦二兩ヲ出スヘシ如シ二字ヲ變更スルトキハ新牌ト同樣庄銀二十兩ヲ出スヘシ新開ノ店舖ハ時日ヲ拘ラス先ツ庄銀ヲ年費會長ニ送付シ牌名ヲ登簿シ燒印ノ尺度ヲ領收シタル後營業スヘシ組合ノ者他業者ト合資開店シ若シ組合ヲ退業シ他業者ノ獨名ニテ營業スルトキハ原牌ヲ用フルカ或ハ記名ヲ添フルカ組合業議ニ任セ更ニ銀庄五十兩ヲ出スヘシ其牌名ハ子孫之ヲ繼承スヘキモ他人ニ讓ルヲ許サス違フ者ハ議罰スヘシ

一衙門、公館、居宅內ニ貨物ヲ持込ミ之ヲ示スコトハ從來禁止セスト雖モ番頭、小僧等ハ只客棧ニ至リ仕切ヲ取リ或ハ親友ヲ訪問スルヲ許スノミ貨物ヲ客棧ニ持込ミ尺度ヲ延ヘテ私賣スルヲ嚴禁スル違犯者ヲ查出スレハ解雇科罰スヘシ

一組合ノ者番頭ヲ雇ヒ小僧ヲ招クトキハ必ス保證人ヲ要スヘシ若シ貨物ヲ私竊シ或ハ代銀ヲ私收スル等ノ惡事アレハ保證人ヲ責問シ事實アレハ解雇セシメ永遠組合ニ入ルヲ許サス

一小僧ハ三年ヲ以テ滿限トス三年未滿ノ者ハ店舖ニ於テ給銀ヲ取ルヲ許サス如シ擅ニ來歷不明ノ者ヲ用フレハ議罰スヘシ

一先後任ノ會長ヲ論セス會內ノ事件ヲ處理スルタメ他人ノ私慾ヲ招ク等ノ弊アレハ會衆公議シ之ヲ公訴シ其費用ハ會內備賞金ヨリ出スヘシ或ハ詐欺又ハ各店ノ番頭、手代及小僧ノ變死ニ訴訟ノ連累ヲ破ル者ハ會長等公議ノ上從辦重力スヘシ

凡ソ我同人以上ノ各歇ヲ違犯スル者アレハ銀五十兩、演戲一臺、酒食四席ヲ罰スヘシ

光緒二十二年八月十六日

附記右綢緞物卸店ニシテ開京、蘇州等ニ產スル縐紗、緞子、綢緞、絹、紗等ノ輸入上等品ヲ大手ニ賣ルトキハ四兩月期ノ延賣ニテ月利百兩ニ附キ一分五厘、行規百兩ニ附キ九兩五分、申水百兩ニ附キ四兩五錢ト控除スル定規ナリ又四川省ノ嘉定府、瀘州府、成都等ノ土產ニ係ル粧綢、潮綢、大綢、巴緞等ハ行規ヲ控除セス只申水百兩ニ附キ四兩五錢ヲ控除スルノミナリ

（未完）

○外報

支那

○各省學政官ノ替任　各省ノ學政官ハ去月二十八日ノ上諭ヲ以テ悉皆替任シタリ乃チ左ノ如シ（來月一日上海濳報）

許可 4263 3

第4263号　本文

編纂者　文學社編輯所　發行者　東京府東京市日本橋區本町四丁目十六番地東　小林義則　印刷者　同府士族

○廣告

文官高等試驗ノ迅速作文試驗來ル十月一日東京市麹町區内幸町集議院ニ於テ施行ニ附キ當日午前八時マテニ同院ニ出頭アルヘシ但シ召集ノ通知ヲ受ケザル者ハ論文ニ合格セサルモノト心得ヘシ

有公告ス

明治三十年九月　文官高等試驗委員長

○血清有效期限

本院製造實布篤利亞血清有效期限ヲ一箇年間ト改正ス

明治三十年九月　血清藥院

○稅關監吏補試驗

來ル十月七日ヨリ當分ノ間ニ於テ稅關監吏補試驗ヲ執行ス志願者ハ左項承知ノ上本月三十日限履歷書ヲ添ヘ本關ニ出願スヘシ

第一　年齡滿二十歲以上三十五歲以下ニシテ兵役ニ關係ナキ者

第二　身體健全ニシテ近視眼ニアラサル者

第三　躯幹五尺以上ノ者

第四　本港ニ於テ身元確實ナル保證人アル者

第五　讀書　漢文ノ讀讀　四　筆寫　楷行兩體

作文　假名交リ文　書牘　記事　若クハ論說　五　外國語　講讀　書取　會話　飜譯

算術　加減乘除分數比例

明治三十年九月　文官高等試驗委員長

○檢定教科用圖書

高等小學校讀書科生徒用

全八冊　定價（卷一金十六錢　卷二金十七錢　卷三金二十八錢　卷四金二十九錢　卷五金二十二錢　卷六金二十二錢　卷七金二十二錢　卷八金二十三錢）

國民讀本　高等小學校用

明治三十年八月二十八日訂正再版發行　新潟稅關

○天氣概況

晴雨計ハ南海岸ヲ除ク外下降シテ低氣壓部位七百六十六粍ハ支那東海ヲ北東ニ經過シツヽアリ而シテ他ノ七百五十八粍ハ北海道ノ北部ヲ掩ヘリ○全國概ネ南又ハ東ノ風吹キ過半晴天アレトモ極北部ハ曇天ナリ而シテ大島ニ大雨（前八時間ニ五十七粍）降レリ○溫度ハ上昇シテ鹿兒島ニ三十二度、根室ニ十一度ヲ示セリ

○全國天氣豫報

九月十五日分　自九月十四日午後六時　至九月十五日午後六時

○東京地方天氣豫報

九月十五日分　自九月十四日午後六時　至九月十五日午後六時

○地震

岐阜及青森ノ地震報告左ノ如シ

岐阜　九月十三日　午後二時二十六分十秒　微　地鳴アリ

青森　同十四日　午前八時五十四分零秒　微　（以上中央氣象臺）

○北ノ風曇但シ多少ノ雨

○警報　海上不穩ノ虞アリ

九月十四日午後三時四十分一區西部ノ沿海ヲ警戒ス

編纂者　文學社編輯所　發行者　東京府東京市日本橋區本町四丁目十六番地東　小林義則　印刷者　同府士族

右明治三十年九月十一日檢定

○汽車發着時刻改定

明治三十年九月　文部省

本月二十日ヨリ現行米原福井間汽車發着時刻ヲ廢止シ更ニ米原小松間時刻ヲ左記ノ通定ム

但シ詳細ノ時刻ハ各停車場ニ掲示ス

明治三十年九月　鐵道作業局

下り列車

午前四時五十分　米原發　小松行

同七時五十分　同　同　同

同十一時　同　同　同

午後二時　同　同　福井行

同五時五分　同　同　福井發

午前六時　同　福井發　小松行

上り列車

午前六時三十四分　小松發　米原行

同九時三十四分　同　同　同

午後十二時三十四分　同　同　同

同三時四十分　同　同　福井行

同六時四十分　同　福井發　米原行

午前五時三十分

○書記補試驗

來ル十月七日當局ニ於テ通信書記補任用試驗ヲ施行ス志願者ハ明治二十八年ニ遞信省令第二號書記補試驗規則ニ依リ願書ヲ當局ニ差出スヘシ

明治三十年九月　横濱郵便電信局

○購買入札

第一號　廢棄掛　外百九十　濱田歩兵第二十一聯　第八號　同　外百五十

札トモ　四點　隊納　四點　隊納　同

第二號　同　外百八十　山口歩兵第四十二聯　第九號　机　外十一點

九點　隊納　松山歩兵第二十二聯

第三號　同　同　高知歩兵第四十四聯　第十號　同　同　隊納　歩兵第十二聯隊

第四號　同　同　丸龜歩兵第四十三聯　第十一號　同　同　納　同

第五號　同　外百八十　納　同　騎兵第十一聯隊　第十二號　同　同　納　同

第六號　同　外二百六　同　野戰砲兵第十一　第十三號　同　外百五十　納　同

點　聯隊納　工兵第十一大隊　八點　隊納

第七號　同　外百五十　第十四號　同　外十七點　同　工兵第五大隊納

五點　以上入札保證金各自見積代價百分ノ五以上、契約保證金落札代價百分ノ十、入札者ハ二年以來引續キ其業ニ從事セル旨ノ證明書（新區長又ハ市町村長ニ於テ證明セシモノ）ヲ入札期日三日前マテニ當部ニ差出スヘシ

右購買入札望ノ者ハ本月二十五日ヨリ當部（新橋停車場内）マテニ當部ニ就キ入札心得書、契約書案物品調製案及圖面等熟覽ノ上同二十八日午前十時保證金ヲ添ヘ（番號一廉毎ニ當部ニ於テ入札スヘシ同時ニ二十一錢）此契約ハ臨時陸軍建築部廣島支部長根岸業擔任ス

明治三十年九月十四日　臨時陸軍建築部廣島支部

○檢定教科用圖書

高等小學校讀書科生徒用

全八冊　定價（卷一金十六錢　卷二金十七錢　卷三金二十八錢　卷四金二十九錢　卷五金二十二錢　卷六金二十二錢　卷七金二十二錢　卷八金二十三錢）

國民讀本　高等小學校用

明治三十年八月二十八日訂正再版發行　新潟稅關

材雜二八九　一等石炭　十万斤　同　二九一　二等石炭　三十万斤　同　二九二　三等石炭　五十万斤

同二九〇　粉炭　五十万斤　同　二九二　三等石炭　五十万斤

以上入札保證金各自見積代價百分ノ七以上、契約保證金各〻落札代價百分ノ十五入札者ハ二年以來引續キ其業ニ從事スル者ニ限ル

右購買入札望ノ者ハ本部ニ就キ見本品及契約書案熟覽ノ上本月二十八日午前十時限入札保證金及警業證明書ヲ添ヘ入札スヘシ同時二十分本部ニ於テ開札ス

此契約ハ臺灣守府造船部長赤塚正作擔任ス

明治三十年九月十日　吳鎭守府造船部

○請負入札

一諸物品運送入札保證金二十五圓　契約保證金五十圓

但シ東京、神奈川縣高座郡辻堂間

入札保證金五十圓　契約保證金百圓　一運搬車　同　金十三圓　同　金二十五圓

一人夫　同　金五圓　同　金十圓　一運送船　同　金二十五圓　同　金五十圓

一木工

以上入札者ハ二年以來其業ニ從事スル者ニ限ル

右供給請負望ノ者ハ當廠會計課ニ就キ契約書案及入札心得書等熟覽ノ上本月二十九日午後一時限入札保證金ヲ添ヘ入札書差出スヘシ即時開札ス

此契約ハ臺灣守府造船部長赤塚正作擔任ス

明治三十年九月十五日　遞信省監査局

○購買及請負入札廣告中取消

一行灑掃用蠟燭　一万箇

一同上　一万箇

締紐

右購買又ハ請負望ノ者ハ入札前日マテニ當局調度課用度掛ニ就キ見本、品目明細書、入札人心得書及契約書案等熟覽ノ上本月三十日午後一時限入札スヘシ即時當局調度課ニ於テ開札ス

此契約ハ遞信省監査局長中橋德五郎擔任ス

明治三十年九月十五日　東京海軍造兵廠

○請負入札

一諸物品運送入札保證金二十五圓　契約保證金五十圓

但シ東京、神奈川縣高座郡辻堂間

入札保證金五十圓　契約保證金百圓　一運搬車　同　金十三圓　同　金二十五圓

一人夫　同　金五圓　同　金十圓　一運送船　同　金二十五圓　同　金五十圓

一木工

以上入札者ハ二年以來其業ニ從事スル者ニ限ル

右供給請負望ノ者ハ當廠會計課ニ就キ契約書案及入札心得書等熟覽ノ上本月二十九日午後一時限入札保證金ヲ添ヘ入札書差出スヘシ即時開札ス

此契約ハ東京海軍造兵廠長原田宗助擔任ス

明治三十年九月十五日　東京海軍造兵廠

○購買及請負入札廣告中取消

本月十三日本欄内掲載購買及請負入札廣告中「移築未造平家一棟建坪四十坪」及「圖面、仕樣書」「第三」トアルヲ取消ス

明治三十年九月十五日　文部大臣官房會計課

○工事請負入札

一神奈川縣横濱市葉煙草取扱所鑑倉倉庫、上屋其他附屬物一式新營

入札保證金請負見積代價百分ノ五以上、契約保證金落札金高百分ノ十（圓未滿切上圓止トス）入札者ハ二年以上引續キ其業ニ從事シタル時ノ實績ヲ有スル者ニシテ（會計檢查部ノ工事ニ從事シタル者ハ此限ニアラス）納二年以來其業ニ從事シ者ニシテ尚ホ本年七月遞信省令第二十號ニ該當スル賞格ヲ有スル者ナルコトヲ市町村長、區長（特別市制ニ依リ設ケラレタル證明ニ代ルヘキ書面若クハ登記ノ謄本ヲ入札期日三日前マテニ當部ニ差出シ其許可ヲ得テ添方書圖面、入札人心得書、契約書案及現場等熟覽ノ上入札書ニ入札保證金ヲ添ヘ本月二十九日午前十一時限當部ニ差出スヘシ即時開札ス

此契約ハ鐵道作業局工務部長心得增田謹作擔任ス

明治三十年九月十一日　鐵道作業局工務部

○公示催告

福岡縣福岡市上鰮町番地不明平民無業　申立人　新原助次

一第E6/117號送金手形　一葉

明治三十年八月十一日横濱正金銀行布哇出張所ヨリ横濱正金銀行宛新原助次又ハ手形持參人拂金額日本通貨二百五十二圓七十三錢也

一第E6/103號送金手形　一葉

明治三十年八月七日横濱正金銀行布哇出張所ヨリ横濱正金銀行宛新原助次又ハ手形持參人拂金額日本通貨七百七圓七錢也

右送金手形ノ所持人ハ明治三十一年三月二十日午前十一時マテニ當區裁判所ニ權利ヲ屆出テ且ツ該送金手形ヲ提出スヘシ若シ右期日マテニ權利ヲ屆出テス且ツ該送金手形ヲ提出セサルトキハ該送金手形ハ無效タルヘキコトヲ宣言スルコトアルヘシ此旨催告ス

横濱區裁判所　判事　大谷木耐三

○購買及請負入札廣告中取消

本月十三日本欄内掲載購買及請負入札廣告中「移築未造平家一棟建坪四十坪」及「圖面、仕樣書」「第三」トアルヲ取消ス

明治三十年九月十五日　東京海軍造兵廠

○公示催告

福岡縣福岡市上鰮町番地不明平民無業　申立人　新原助次

一第E6/117號送金手形　一葉

明治三十年八月十一日横濱正金銀行布哇出張所ヨリ横濱正金銀行宛新原助次又ハ手形持參人拂金額日本通貨二百五十二圓七十三錢也

一第E6/103號送金手形　一葉

明治三十年八月七日横濱正金銀行布哇出張所ヨリ横濱正金銀行宛新原助次又ハ手形持參人拂金額日本通貨七百七圓七錢也

右送金手形ノ所持人ハ明治三十一年三月二十日午前十一時マテニ當區裁判所ニ權利ヲ屆出テ且ツ該送金手形ヲ提出スヘシ若シ右期日マテニ權利ヲ屆出テス且ツ該送金手形ヲ提出セサルトキハ該送金手形ハ無效タルヘキコトヲ宣言スルコトアルヘシ此旨催告ス

横濱區裁判所　判事　大谷木耐三

○購買及請負入札廣告中取消

本月十三日本欄内掲載購買及請負入札廣告中「移築未造平家一棟建坪四十坪」及「圖面、仕樣書」「第三」トアルヲ取消ス

明治三十年九月十五日　東京海軍造兵廠

○公示催告

福岡縣福岡市上鰮町番地不明平民無業　申立人　新原助次

一第E6/117號送金手形　一葉

明治三十年八月十一日横濱正金銀行布哇出張所ヨリ横濱正金銀行宛新原助次又ハ手形持參人拂金額日本通貨二百五十二圓七十三錢也

一第E6/103號送金手形　一葉

明治三十年八月七日横濱正金銀行布哇出張所ヨリ横濱正金銀行宛新原助次又ハ手形持參人拂金額日本通貨七百七圓七錢也

右送金手形ノ所持人ハ明治三十一年三月二十日午前十一時マテニ當區裁判所ニ權利ヲ屆出テ且ツ該送金手形ヲ提出スヘシ若シ右期日マテニ權利ヲ屆出テス且ツ該送金手形ヲ提出セサルトキハ該送金手形ハ無效タルヘキコトヲ宣言スルコトアルヘシ此旨催告ス

横濱區裁判所　判事　大谷木耐三

○公示催告

福岡縣福岡市上鰮町番地不明平民無業　申立人　新原助次

一第E6/117號送金手形　一葉

明治三十年八月十一日横濱正金銀行布哇出張所ヨリ横濱正金銀行宛新原助次又ハ手形持參人拂金額日本通貨二百五十二圓七十三錢也

一第E6/103號送金手形　一葉

明治三十年八月七日横濱正金銀行布哇出張所ヨリ横濱正金銀行宛新原助次又ハ手形持參人拂金額日本通貨七百七圓七錢也

右送金手形ノ所持人ハ明治三十一年三月二十日午前十一時マテニ當區裁判所ニ權利ヲ屆出テ且ツ該送金手形ヲ提出スヘシ若シ右期日マテニ權利ヲ屆出テス且ツ該送金手形ヲ提出セサルトキハ該送金手形ハ無效タルヘキコトヲ宣言スルコトアルヘシ此旨催告ス

横濱區裁判所　判事　大谷木耐三

○購買及請負入札廣告中取消

本月十三日本欄内掲載購買及請負入札廣告中「移築未造平家一棟建坪四十坪」及「圖面、仕樣書」「第三」トアルヲ取消ス

明治三十年九月十五日　東京海軍造兵廠

日本銀行營業每週報告

明治三十年九月十一日

負債 摘要	金額	資産 摘要	金額
株金	30,000,000 000	拂込未濟株金	7,500,000 000
積立金其他株主ニ關スル勘定	19,746,905 165	割引手形	34,767,127 153
兌換銀行券發行高	190,671,642 000	外國割引手形	2,890,127 220
政府預金	93,615,041 113	政府貸出金	42,824,703 000
預金	6,183,478 977	貸出金	111,147,528 851
爲替借	13,711 021	爲替貸	1,316,544 510
		公債證書	38,787,662 306
		所有物	1,149,910 569
		通貨及地金銀	99,847,174 667
總計	340,230,778 276	總計	340,230,778 276

明治三十年九月十四日　日本銀行

兌換銀行券發行高

明治三十三年九月十日自
明治三十三年九月十日至

摘要	金額
兌換銀行券發行高	191,419,725 000
總計	191,419,725 000

兌換銀行券發行高ノ内 11,754,708 000ハ

明治三十年九月十四日

○日本郵船株式會社汽船横濱出發表

今十五日	午前十時	住吉丸	津四日市行	同二十日	正午十二時	松山丸	神戸行
明十六日	午前十時	盛海丸	荻ノ濱函館小樽行	同日	午後四時	遠江丸	土崎酒田行
同日	午前十時	東海丸	午四日市行	同（終航）	日	午後四時	伏木丸	敬賀行
同日	午後四時	天津丸	着	濱行	同二十一日	正午十二時	長門丸	神戸下關長崎上海行
明後十七日	正午十二時	小樽丸	神戸行		同日	午後四時	觀音丸	下ノ關長崎三角行
本月十八日	午前十時	門司丸	荻ノ濱函館小樽行		同日	午後四時	畿內丸	下ノ關長崎三角行
同日	午前十時	住ノ江丸	午四日市行				右觀音丸畿內丸ハ乘客ヲ謝絕ス	
同十九日	正午十二時	立山丸	神戸鹽津行		同二十五日	午後四時	住ノ江丸	三宅島八丈島父母島行

○日本郵船株式會社汽船神戸出發表

明十六日	午後	山口丸	上海行	同二十三日	正午十二時	玄海丸	下關長崎釜山仁川行
本月十八日	正午十二時	橫濱丸	門司基隆行	同二十五日	正午十二時	大連丸	芝罘天津下關長崎釜山元山行
							浦潮斯德

歐洲行

河內丸　本月二十八日正午十二時橫濱出帆、十月二日午後神戸出帆、門司、香港、新嘉坡、ペナン、古倫坡、スエズ、ポートセンド、馬耳塞、倫敦、アントワープ行

右歐洲行船客切符ハ出帆當日三日前ニ締切ノ事

○大阪商船株式會社汽船神戸出發表

臺灣行

伏姫丸　明十六日午後五時出帆、宇品、門司、長崎、基隆行

打狗丸　本月二十日午後七時出帆、門司、三角、沖繩、基隆行

但シ臺灣沿岸各港行荷客ハ基隆ニテ接續ス

仁川行

鵜子丸　明十六日正午十二時出帆、馬關、釜山、木浦、仁川行

○郵便船出發表

○本月二十五日（午後四時橫濱出帆）住ノ江丸ヲ以テ三宅島、八丈島、小笠原父島、母島各郵便局ヘ向ケ差立郵便物締切時刻下ノ通

但シ三宅島ヘハ小包郵便物差立テス

通常郵便物	本局	午前十一時十八分	支局	午前九時三十分
小包郵便物		午前十時三十八分		午後七時
貨幣封入郵便物		二十四日午前九時		二十四日午後七時
				二十三日午前九時

○同二十七日頃布哇經由米國及歐洲ヘノ郵便物締切ノ答

○清國上海地方ヘノ郵便ハ毎火曜日午前九時本局締切豫定ノ外不定期便一週兩三回アリ臨時差出ス方速達ヲ得ヘシ

明治三十年九月十五日　東京郵便電信局

明治二十五年三月三十一日遞信省認可（二六）　印刷局印刷